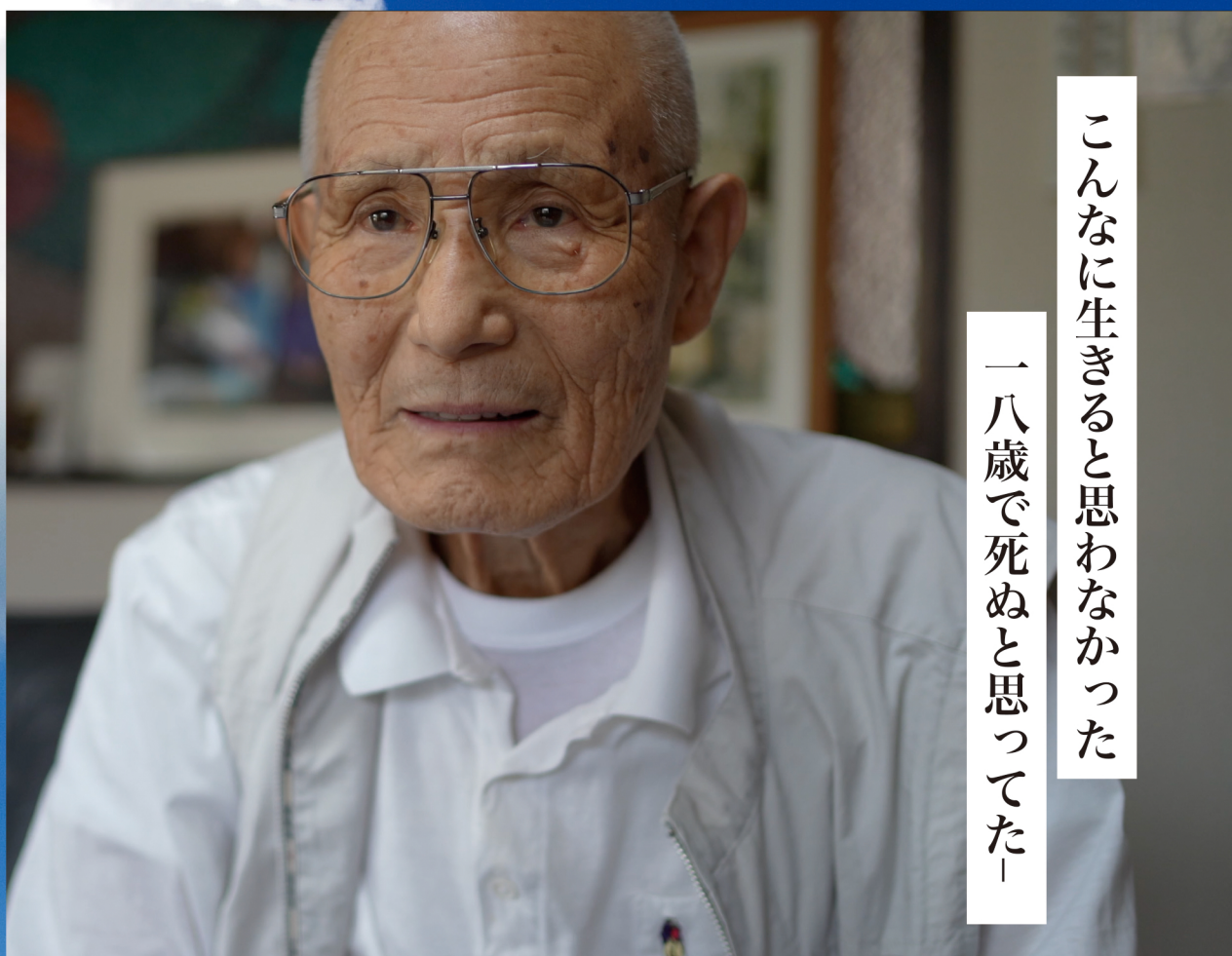


日本で生きる人たちへ ①

元特攻隊訓練生の体験談



こんなに生きると思わなかった

一八歳で死ぬと思ってた！

撮影協力 水戸市文化交流課
語り部 篠原吉宗



YouTube

🔍 日本で生きる人たちへ



15歳の篠原さん



日本で生きる人たちへ ①

元特攻隊訓練生の体験談



世界各地で起きている戦争や紛争のショッキングなニュース。
しかし遠い異国だけではなく、今の平和な日本でもかつては戦争があり、
それを経験した人たちがいる。

彼らが何を経験し、どのような思いで生き抜いてきたのか。

戦争を知る人たちの生の声と、日本で起きていたことや経験者の思いを残し、
この国で生きる人々に、心のあり方を訴える作品の第一弾。

篠原吉宗さん

1929年(昭和4年)生まれ、93歳(取材当時)。

第二次世界大戦中、軍事一色の日本で兵隊への
憧れを抱き、15歳で特攻隊の訓練生として土浦
海軍航空隊に入隊。そして人吉海軍航空隊(熊本
県)での訓練を経て当時日本の基地があった北朝
鮮の元山海軍航空隊で飛行訓練を受けていた時
に終戦を迎える。

しかし終戦後はすぐに帰国はできず、ソ連軍の
侵攻を受けてモスクワの国際捕虜収容所に移さ
れ強制労働に従事。元山からの道中では、飢え
や倒れていく仲間、そしてすれ違った満州から
日本へ帰る民間人の亡くなっていく幼い子供た
ちを目の当たりにする。

19歳でようやく帰国したものの、次に待ち受
けていたのは「なぜ帰ってきたのか」という周
りからの厳しい言葉や、就職差別だった。また、
レッドパージによる不当解雇を恐れ、就職後は
一度も周囲へはシベリア帰りとは口には出さな
かった。戦争が終わってからその影響は続い
ていたのだ。

「18歳で死ぬと思っていた。戦争は勝っても負
けてもダメ。やらないのが一番。77年間戦争
がなかった不思議。今では世界に誇れる日本に
なった。これが100年続いたらたいしたもん
だ。」そう篠原さんは語る。

用途・目的

道徳や総合学習、地域社会など：平和の大切さを改めて知り、当たり前の日常への感謝の心を育む。

死生観の違いを知り、命の尊さについて考える。

社会科(地歴公民)：教科書で習う事柄や戦後の米露対立についての学習に紐付け、より深い理解に繋げる。

上映時間 56分

DVD 定価 ¥100,000+税

学校特別価格 ¥70,000+税

●お問い合わせ・お買い上げは

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101